

子ども食堂の活動後押し 八戸北RCがコメ寄贈

八戸

八戸北ロータリークラブ(千葉哲也会長)は14日、八戸市内の子ども食

堂運営団体などをつくる「子ども食堂in八戸」(代表・佐藤千恵子八戸学院大教授)にコメ560キを寄贈し、活動の後

押しした。八戸プラザホテルで開かれた贈呈式では、同大人間健康学科4年で、佐藤代表のゼミに所属する



千葉哲也会長(右)から目録を受け取る佐藤千恵子代表(中央)。左は松岡奏さん

松岡奏さん(21)が子ども食堂に関わった体験を発表。出席した同クラブのメンバーに「子ども食堂は貧困の子どもが行く所」という先入観を持たれているが、誰でも集まれる場所。意義や実態をもっと周知する必要がある」と呼び掛けた。コメの寄贈は昨年も実施しており、千葉会長から目録を受け取った佐藤代表は「継続的に支援してもらい、ありがたい」と感謝。コメは八戸市と洋野町の子ども食堂計8カ所に配布するという。千葉会長は「活動の助けになれるよう、今後も支援していきたい」と力を込めた。(上條哲洋)